

2023年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
35102	カレッジ英文法 College English Grammar	西川裕子		専門	1	選択	1・2前期

科目の概要

この授業では、英語の基礎文法を学びます。英語と日本語は、文の構造が異なるので、単語を羅列しても通じないことが多いです。聞く・読む・書く時にも文法は大切になってきます。ここでもう一度、英語の基礎を頭に入れて、ステップアップを目指しましょう。また、言葉は文化なので、言葉を通しての異文化理解にも努めたいと思います。英語の基礎と文化の違いを学びながら、合わせて社会人基礎力とpisa型学力の発揮方法、建学の精神の実践方法を修得し、自分の可能性を広げましょう。

学修内容	到達目標
① 英語の基礎文法を理解する。 ② 英語の基礎文法を使って、英語の文を作る。 ③ 英語と日本語の違いや、英語圏と日本の文化の違いを学ぶ。 ④ 授業とともに予習・復習をしながら、学習習慣を身につける。 ⑤ 努力の結果として、英語の知識を増やす。	① 英語の基礎文法を理解できるようになる。 ② 英語の基礎文法を使って、英語の文を作ることができるようになる。 ③ 言葉や文化の違いを念頭に置きながら、英語を使うことができるようになる。 ④ 授業に真面目に取り組み、予習・復習などの学習習慣をつけることができる。 ⑤ 前回の授業時よりも英語の知識を増やしていくことができる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例

前に踏み出す力	主体性	<ul style="list-style-type: none"> 予習・復習をしっかりと行うことができる。 英語の文法を理解して使えるようにするために、努力することができる。 pisa型学力が上がるように、進んで努力することができる。
	働きかけ力	
	実行力	<ul style="list-style-type: none"> 小テストに備えて、復習を行い、準備をすることができる。 授業内の課題、予習・復習、宿題などを着実に実行することができる。
考え抜く力	課題発見力	<ul style="list-style-type: none"> その時間に何を覚え、何を行うべきかなど、課題を見定めることができる。 自分にとっての課題を認識することができる。
	計画力	
	創造力	<ul style="list-style-type: none"> 日本語の枠を越えて、英語の考え方に想いをめぐらせることができる。 ある英語表現を使うシチュエーションを考えることができる。
チームで働く力	発信力	<ul style="list-style-type: none"> 聞き手を意識して、相手の目を見て（アイコンタクト）、はっきりと話すことができる。 発信を行うことができる。
	傾聴力	<ul style="list-style-type: none"> 集中して、他者の説明や発表を聴くことができ、聴いたことを生かすことができる。 指示をよく聞いて、作業を行うことができる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	<ul style="list-style-type: none"> 遅刻、無断欠席など学習意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。欠席した場合は欠席届を提出し、フォローレポート課題を行う。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

テキスト：水島孝司、Roger Pattimore「Everyday English Grammar 《Third Edition》（大学生のためのコミュニケーション英文法 《改訂3版》）」南雲堂、2018年。2,200円（税込）
 プリントも適宜配布します。
 参考文献：なし

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：トラベルホームステイイングリッシュ、TOEICリスニング、TOEICリーディング
 資格との関連：なし

学修上の助言	受講生とのルール
授業に関わって行ったことは全て評価対象とするので、予習の宿題などがあっても、必ずやるようにしましょう。また、復習についても、ミニテストを行うことで評価します。 欠席して行わなかった課題やアクティビティがあると、その分点も下がります。欠席はしないようにしましょう。	授業に積極的に参加してください。 基本的なルール（無断欠席、遅刻、居眠り、私語をしないなど）を守ってください。 携帯電話の電源は切り、カバンに入れておきましょう。 携帯電話の電源は切り、カバンに入れておきましょう。 高校の時に使っていた英語の辞書を持ってくるといいと思います。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学 期 末 試 験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	40	①	✓	授業で習った文法事項や例文の内容が理解できた結果として、問題を解くことができる（正答することができる）。 *学期末試験では、pisa型学力の③「獲得した知識・情報等の資源を活用して課題を解決する力」が発揮できているかどうか判断される。	
				②	✓		
				③	✓		
				④	✓		
				⑤	✓		
	平 常 評 価	小 テ ス ト		50	①	✓	小テスト、宿題、課題などにより、平常の努力を評価する。 *毎週の小テストの点数の平均、クラスルームや紙の宿題の提出状況を中心に、課題の行い方、復習の程度、知識の定着度なども加味する。 *小テスト、宿題、課題としては、pisa型学力の①②③「知識・情報等の資源を獲得する力、活用する力、ならびに、活用して解決する力」が発揮できているかどうかを評価できるものを出す。 *小テストの出題範囲は、一つ前の授業の最後に伝える。
					②	✓	
					③	✓	
					④	✓	
					⑤	✓	
		レ ポ ー ト		0	①		
					②		
					③		
					④		
					⑤		
		成 果 発 表 （ プ レ ゼ ン テ ー シ ョ ン ・ 作 品 制 作 等 ）		0	①		
					②		
					③		
					④		
					⑤		
学 修 行 動	社 会 人 基 礎 力 （ 学 修 態 度 ）		10	①	✓	(主体性) ・予習・復習をしっかり行うことができる。 ・英語の文法を理解して使えるようにするために、努力することができる。 ・pisa型学力が上がるように、進んで努力することができる。 (実行力) ・小テストに備えて、復習を行い、準備をすることができる。 ・授業内の課題、予習・復習、宿題などを着実に実行することができる。 (課題発見力) ・その時間に何を覚え、何を行うべきかなど、課題を見定めることができる。 ・自分にとっての課題を認識することができる。 (創造力) ・日本語の枠を越えて、英語の考え方に想いをめぐらせることができる。 ・ある英語表現を使うシチュエーションを考えることができる。 (発信力) ・聞き手を意識して相手の目を見て（アイコンタクト）はっきりと話すことができる。 ・発信を行うことができる。 (傾聴力) ・集中して、他者の説明や発表を聴くことができ、聴いたことを生かすことができる。 ・指示をよく聞いて、作業を行うことができる。 (規律性) ・遅刻、無断欠席など学習意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。欠席した場合は欠席届を提出し、フォローレポート課題を行う。	
				②	✓		
				③	✓		
				④	✓		
				⑤	✓		
総合評価割合			100				

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>S(秀)は①宿題・課題の期限を守って全部行うことができていること、②小テストを毎回受けて、平均90点以上とることができていること、③期末試験で90点以上をとることができていること。</p> <p>A(優)は①宿題・課題の期限を守って全部行うことができていること、②小テストを毎回受けて、平均80点以上とることができていること、③期末試験で80点以上をとることができていること。</p>	<p>B(良)は①宿題・課題を全部行うことができていること、②小テストを受けて、平均70点以上とることができていること、③期末試験で70点以上をとることができていること。</p> <p>C(可)は①宿題・課題を全部行うことができていること、②小テストを受けて、平均60点以上とることができていること、③期末試験で60点以上をとることができていること。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	<ul style="list-style-type: none"> ・ガイダンス ・英語の動詞について学ぶ。(be動詞と一般動詞の現在形) ・時制を理解する(1)。 ・英語と日本語の文の構造の違いを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・講義・演習(問題を解く) ・必要に応じてグループワークやディスカッション、発表を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・be動詞と一般動詞の違いを理解できる。 ・時制としての現在形を理解できる。 ・be動詞と一般動詞で、現在形の疑問文と否定文を作ることができる。 	(復習)教科書のUnit1とUnit2の文法事項を確認する。 (予習)・Unit3、4の説明を読み、基本問題と発展問題をやってくる。 ・ミニテストの準備をする。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
2	<ul style="list-style-type: none"> ・過去形について学ぶ。(be動詞と一般動詞の過去形) ・時制を理解する(2)。 ・一般動詞の規則変化について学ぶ。 ・英語と日本語の文の構造の違いを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前回学習したことの小テストを行い、解答・解説をする。 ・講義・演習(問題を解いて、解説を聞き、本文を読む練習をする。フィードバックによって、できなかった部分をしっかりと認識し、復習につなげる。) ・必要に応じてグループワークやディスカッション、発表を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・be動詞と一般動詞の過去形(特に規則変化)の文の作り方を理解できる。 ・時制としての過去形を理解できる。 ・小テストで60点以上をとる。 	(復習)教科書のUnit3、4を復習し、文法事項を確認する。 (予習)・Unit5、6の説明を読み、基本問題と発展問題をやってくる。 ・ミニテストの準備をする。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
3	<ul style="list-style-type: none"> ・一般動詞の過去形(特に不規則変化)と命令文、There is(are)～の使い方について学ぶ。 ・英語と日本語の違いを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前回学習したことの小テストを行い、解答・解説をする。 ・講義・演習(問題を解いて、解説を聞き、本文を読む練習をする。フィードバックによって、できなかった部分をしっかりと認識し、復習につなげる。) ・必要に応じてグループワークやディスカッション、発表を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一般動詞の過去形(特に不規則変化)と命令文、There is(are)～の文の作り方を理解できる。 ・小テストで60点以上をとる。 	(復習)教科書のUnit5、6を復習し、一般動詞の過去形(特に不規則変化)と命令文、There is(are)～の文の作り方を確認する。 (予習)・Unit7、8の説明を読み、基本問題と発展問題をやってくる。 ・ミニテストの準備をする。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
4	<ul style="list-style-type: none"> ・Itの特別用法、注意すべき疑問文について学ぶ。 ・英語と日本語の考え方の違いを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前回学習したことの小テストを行い、解答・解説をする。 ・講義・演習(問題を解いて、解説を聞き、本文を読む練習をする。フィードバックによって、できなかった部分をしっかりと認識し、復習につなげる。) ・必要に応じてグループワークやディスカッション、発表を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・Itの特別用法と注意すべき疑問文を理解できる。 ・小テストで60点以上をとる。 	(復習)教科書のUnit7、8のItの特別用法と注意すべき疑問文を復習する。 (予習)・Unit9、10の説明を読み、基本問題と発展問題をやってくる。 ・ミニテストの準備をする。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
5	<ul style="list-style-type: none"> ・進行形と未来形について学ぶ。 ・時制を理解する(3)。 ・英語と日本語の違いを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前回学習したことの小テストを行い、解答・解説をする。 ・講義・演習(問題を解いて、解説を聞き、本文を読む練習をする。フィードバックによって、できなかった部分をしっかりと認識し、復習につなげる。) ・必要に応じてグループワークやディスカッション、発表を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・進行形と未来形の文を理解できる。 ・進行形と未来形の時制を理解できる。 ・小テストで60点以上をとる。 	(復習)教科書のUnit9、10の進行形と未来形の文の作り方を復習する。 (予習)・Unit11、12の説明を読み、基本問題と発展問題をやってくる。 ・ミニテストの準備をする。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6	<ul style="list-style-type: none"> ・助動詞の使い方とそれぞれの意味を学ぶ。 ・英語と日本語の違いを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前回学習したことの小テストを行い、解答・解説をする。 ・講義・演習(問題を解いて、解説を聞き、本文を読む練習をする。フィードバックによって、できなかった部分をしっかりと認識し、復習につなげる。) ・必要に応じてグループワークやディスカッション、発表を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・助動詞の使い方とそれぞれの意味を理解し、適切な助動詞を選んで文章を作ることができる。 ・小テストで60点以上をとる。 	(復習)教科書のUnit11、12の助動詞の使い方と意味を覚える。 (予習)・Unit13、14の説明を読み、基本問題と発展問題をやってくる。 ・ミニテストの準備をする。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7	<ul style="list-style-type: none"> ・名詞・冠詞、代名詞の種類と役割を学ぶ。 ・人称について理解する。 ・単数・複数について理解する。 ・英語と日本語の違いを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前回学習したことの小テストを行い、解答・解説をする。 ・講義・演習(問題を解いて、解説を聞き、本文を読む練習をする。フィードバックによって、できなかった部分をしっかりと認識し、復習につなげる。) ・必要に応じてグループワークやディスカッション、発表を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・名詞・冠詞、代名詞の種類と役割、人称、単数・複数を理解し、適切に文章を作ることができる。 ・小テストで60点以上をとる。 	(復習)教科書のUnit13、14の名詞・冠詞、代名詞の種類と役割、人称、単数・複数を理解する。 (予習)・Unit15、20の説明を読み、基本問題と発展問題をやってくる。 ・ミニテストの準備をする。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8	<ul style="list-style-type: none"> ・前置詞の種類と役割、使い方を学ぶ。 ・接続詞の種類と役割、使い方を学ぶ。 ・英語と日本語の違いを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前回学習したことの小テストを行い、解答・解説をする。 ・講義・演習(問題を解いて、解説を聞き、本文を読む練習をする。フィードバックによって、できなかった部分をしっかりと認識し、復習につなげる。) ・必要に応じてグループワークやディスカッション、発表を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前置詞の種類と役割、使い方を理解し、適切に文章を作ることができる。 ・接続詞の種類と役割、使い方を理解し、適切に文章を作ることができる。 ・小テストで60点以上をとる。 	(復習)教科書のUnit15、20の内容を見直し、説明できるようにする。 (予習)・Unit16、17の説明を読み、基本問題と発展問題をやってくる。 ・ミニテストの準備をする。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	・形容詞と副詞の役割と使い方を学ぶ。 ・英語と日本語の考え方の違いを理解する。	・前回学習したことの小テストを行い、解答・解説をする。 ・講義・演習 (問題を解いて、解説を聞き、本文を読む練習をする。フィードバックによって、できなかった部分をしっかりと認識し、復習につなげる。) ・必要に応じてグループワークやディスカッション、発表を行う。	・形容詞と副詞の役割と使い方を理解し、適切に文章を作ることができる。 ・小テストで60点以上をとる。	(復習)教科書のUnit16、17の内容を理解し、形容詞と副詞を使った文の作り方を確認する。 (予習)・Unit18、19の説明を読み、基本問題と発展問題をやってくる。 ・ミニテストの準備をする。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10	・比較(比較級と最上級)に関する文の作り方と使い方を学ぶ。 ・英語と日本語の違いを理解する。	・前回学習したことの小テストを行い、解答・解説をする。 ・講義・演習 (問題を解いて、解説を聞き、本文を読む練習をする。フィードバックによって、できなかった部分をしっかりと認識し、復習につなげる。) ・必要に応じてグループワークやディスカッション、発表を行う。	・比較に関する文の作り方を理解し、文章を作ることができる。 ・小テストで60点以上をとる。	(復習)教科書のUnit18、19の内容を理解し、比較に関する文の作り方を確認する。 (予習)・Unit21の説明を読み、基本問題と発展問題をやってくる。 ・関係詞に関する配布プリントを読み、問題をやってくる。 ・ミニテストの準備をする。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11	・受け身(受動態)の文の作り方と使い方を学ぶ。 ・感情を表す動詞の特徴を理解する。 ・関係詞の種類と使い方を学ぶ。 ・英語と日本語の違いを理解する。(感情を表す動詞)	・前回学習したことの小テストを行い、解答・解説をする。 ・講義・演習 (問題を解いて、解説を聞き、本文を読む練習をする。フィードバックによって、できなかった部分をしっかりと認識し、復習につなげる。) ・必要に応じてグループワークやディスカッション、発表を行う。	・受け身(受動態)の文の作り方を理解し、文章を作ることができる。 ・感情を表す動詞を使った文の特徴を理解する。 ・関係詞の種類と文の作り方を理解する。 ・小テストで60点以上をとる。	(復習)教科書のUnit21の内容を理解し、受け身(受動態)の文の作り方を確認する。 ・感情を表す動詞を使った文について確認する。 ・関係詞の種類と文の作り方を確認する。 (予習)・Unit22、23の説明を読み、基本問題と発展問題をやってくる。 ・ミニテストの準備をする。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12	・不定詞、動名詞を使った文の作り方と使い方を学ぶ。 ・英語と日本語の違いを理解する。	・前回学習したことの小テストを行い、解答・解説をする。 ・講義・演習 (問題を解いて、解説を聞き、本文を読む練習をする。フィードバックによって、できなかった部分をしっかりと認識し、復習につなげる。) ・必要に応じてグループワークやディスカッション、発表を行う。	・不定詞、動名詞の形と意味を理解し、文章を作ることができる。 ・小テストで60点以上をとる。	(復習)教科書のUnit22、23の内容を理解し、不定詞、動名詞の使い方を確認する。 (予習)・Unit24の説明を読み、基本問題と発展問題をやってくる。 ・ミニテストの準備をする。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13	・分詞を使った文の作り方を学ぶ。 ・英語と日本語の違いを理解する。	・前回学習したことの小テストを行い、解答・解説をする。 ・講義・演習 (問題を解いて、解説を聞き、本文を読む練習をする。フィードバックによって、できなかった部分をしっかりと認識し、復習につなげる。) ・必要に応じてグループワークやディスカッション、発表を行う。	・分詞の使い方を理解し、分詞を使った文章を作ることができる。 ・小テストで60点以上をとる。	(復習)教科書のUnit24の内容を理解し、分詞の使い方を確認する。 (予習)Unit25の説明を読み、基本問題と発展問題をやってくる。 ・ミニテストの準備をする。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14	・現在完了形を中心に、完了形を使った文の作り方と使い方を学ぶ。 ・時制を理解する(4)。 ・英語と日本語の違いを理解する。	・前回学習したことの小テストを行い、解答・解説をする。 ・講義・演習 (問題を解いて、解説を聞き、本文を読む練習をする。フィードバックによって、できなかった部分をしっかりと認識し、復習につなげる。) ・必要に応じてグループワークやディスカッション、発表を行う。	・完了形の形と意味を理解し、文章を作ることができる。 ・どんな時に完了形が使われるか、時制を理解して使うことができる。 ・小テストで60点以上をとる。	(復習)教科書のUnit25の内容を理解し、完了形の使い方と完了形がよく使われる場面を確認する。 (予習)・仮定法に関する配布プリントを読み、問題をやってくる。 ・ミニテストの準備をする。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15	・仮定法の作り方と使い方を学ぶ。 ・英語と日本語の違いを理解する。	・前回学習したことの小テストを行い、解答・解説をする。 ・講義・演習 (問題を解いて、解説を聞き、本文を読む練習をする。フィードバックによって、できなかった部分をしっかりと認識し、復習につなげる。) ・必要に応じてグループワークやディスカッション、発表を行う。	・仮定法の形と意味を理解し、適切に文章を作ることができる。 ・小テストで60点以上をとる。	(復習) ・仮定法のプリントの内容を理解し、仮定法の使い方と仮定法がよく使われる場面を確認する。 ・テストに備えて、全体を見直す。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力